

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年1月6日

協議会名: 富山県生活路線バス協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
富山地方鉄道株式会社	滑川 ※車両減価償却費等国庫補助金	感染症防止対策を実施中である旨をHP等に掲出し、安心して利用できることをPRするとともに、夏休みの親子でおでかけキャンペーンなど関係自治体との利用促進に取り組み、利用者の増加に努めた。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 新型コロナウイルスや大雪の影響を受け、今年度の利用者は100,428人となり、前年比95%と減少した。新型コロナウイルスの影響を受け、ノンステップバスの導入は実施していない。	新型コロナウイルスの影響により利用が減少している高齢者や通勤利用者向けに安価な定期券をPRし、沿線自治体や地元の大学と連携して、利用促進・効果把握に取り組む。
富山地方鉄道株式会社	猪谷 ※車両減価償却費等国庫補助金	感染症防止対策を実施中である旨をHP等に掲出し、安心して利用できることをPRした。加えて、富山市民病院やアピタ富山店に時刻表を掲出するとともに、夏休みの親子でおでかけキャンペーンなど関係自治体との利用促進にも取り組み、利用者の増加に努めた。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 新型コロナウイルスや大雪の影響を受け、今年度の利用者は139,004人となり、前年比95%と減少した。新型コロナウイルスの影響を受け、ノンステップバスの導入は実施していない。	新型コロナウイルスの影響により利用が減少している高齢者や通勤利用者向けに安価な定期券をPRし、富山市や地元の大学と連携して、利用促進・効果把握に取り組む。
富山地方鉄道株式会社	富山～高岡 ※車両減価償却費等国庫補助金	感染症防止対策を実施中である旨を自社のHPや高岡市のHP等に掲出し、安心して利用できることをPRした。加えて、夏休みの親子でおでかけキャンペーンなど関係自治体との利用促進に取り組み、利用者の増加に努めた。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 新型コロナウイルスや大雪の影響を受け今年度の利用者は218,211人となり、前年比99%と微減した。新型コロナウイルスの影響を受け、ノンステップバスの導入は実施していない。	新型コロナウイルスの影響により利用が減少している高齢者や通勤利用者向けに安価な定期券をPRし、沿線自治体や地元の大学と連携して、利用促進・効果把握に取り組む。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
富山地方鉄道株式会社	富山～小杉 ※車両減価償却費等国庫補助金	感染症防止対策を実施中である旨をHP等に掲出し、安心して利用できることをPRした。加えて、夏休みの親子でおでかけキャンペーンなど関係自治体との利用促進に取り組み、利用者の増加に努めた。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 新型コロナウイルスや大雪の影響を受けたものの、沿線の学校の需要の多い時間帯に増発した結果、今年の利用者は107,712人で前年比115%と増加した。新型コロナウイルスの影響を受け、ノンステップバスの導入は実施していない。	新型コロナウイルスの影響により利用が減少している高齢者や通勤利用者向けに安価な定期券をPRし、沿線自治体や地元の大学と連携して、利用促進・効果把握に取り組む。
富山地方鉄道株式会社	山田 ※車両減価償却費等国庫補助金	感染症防止対策を実施中である旨をHP等に掲出し、安心して利用できることをPRした。加えて、沿線の商業施設ファボーレへの利便性を保つため、休日は他の系統を含め、20分に1本のパターンダイヤを維持するなど、利用者の増加に努めた。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 新型コロナウイルスや大雪の影響を受け、今年度の利用者は105,332人となり、前年比97%と減少した。新型コロナウイルスの影響を受け、ノンステップバスの導入は実施していない。	新型コロナウイルスの影響により利用が減少している高齢者や通勤利用者向けに安価な定期券をPRし、富山市や地元の大学と連携して、利用促進・効果把握に取り組む。加えて、学校や地元の商業施設と連携して、利用促進に取り組む。
富山地方鉄道株式会社	ファボーレ経由菟の島 ※車両減価償却費等国庫補助金	感染症防止対策を実施中である旨をHP等に掲出し、安心して利用できることをPRした。加えて、沿線の商業施設ファボーレへの利便性を保つため、休日は他の系統を含め、20分に1本のパターンダイヤを維持するなど、利用者の増加に努めた。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 新型コロナウイルスや大雪の影響を受けたものの、今年度の利用者は68,670人となり、前年比103%と増加した。新型コロナウイルスの影響を受け、ノンステップバスの導入は実施していない。	新型コロナウイルスの影響により利用が減少している高齢者や通勤利用者向けに安価な定期券をPRし、富山市や地元の大学と連携して、利用促進・効果把握に取り組む。加えて、学校や地元の商業施設と連携して、利用促進に取り組む。
富山地方鉄道株式会社	熊野経由八尾 ※車両減価償却費等国庫補助金	感染症防止対策を実施中である旨をHP等に掲出し、安心して利用できることをPRした。加えて、沿線の商業施設ファボーレへの利便性を保つため、休日は他の系統を含め、20分に1本のパターンダイヤを維持するなど、利用者の増加に努めた。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 新型コロナウイルスや大雪の影響を受け今年度の利用者は176,941人となり、前年比95%と減少した。新型コロナウイルスの影響を受け、ノンステップバスの導入は実施していない。	新型コロナウイルスの影響により利用が減少している高齢者や通勤利用者向けに安価な定期券をPRし、富山市や地元の大学と連携して、利用促進・効果把握に取り組む。加えて、学校や地元の商業施設と連携して、利用促進に取り組む。
富山地方鉄道株式会社	城端	沿線自治体から要望の出っていた城端バス停を城端駅のターミナルへ移設し、利用者の待合環境を良くするなど、利便性の向上に努めた。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 新型コロナウイルスや大雪の影響を受け、今年度の利用者は94,457人となり、前年比92%と減少した。	新型コロナウイルス感染防止対策をPRするとともに、沿線自治体と連携して、利用促進に取り組む。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
富山地方鉄道株式会社	富山-国立富山病院 ※車両減価償却費等国庫補助金	感染症防止対策を実施中である旨をHP等に掲出し、安心して利用できることをPRした。加えて、富山市のおでかけ定期券や親子でおでかけキャンペーンなど関係自治体と利用の促進に取り組み、利用者の増加に努めた。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 運行本数を増加させたことにより、今年度の利用者は77,113人となり、前年比105%と増加した。新型コロナウイルスの影響を受け、ノンステップバスの導入は実施していない。	新型コロナウイルスの影響により利用が減少している高齢者や通勤利用者向けに安価な定期券をPRし、富山市や地元の大学と連携して、利用促進・効果把握に取り組む。加えて、学校や地元の商業施設と連携して、利用促進に取り組む。
富山地方鉄道株式会社	布目経由新港東口 ※車両減価償却費等国庫補助金	感染症防止対策を実施中である旨をHP等に掲出し、安心して利用できることをPRした。加えて、沿線学校の利便性向上のため、運行本数を増やすとともに、学校付近にバス停を新設し、利用促進に努めたことに加え、親子でおでかけキャンペーンなど関係自治体と利用の促進に取り組み、利用者の増加に努めた。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 運行本数を増加させたことにより、今年度の利用者は97,322人で前年比118%と増加した。新型コロナウイルスの影響を受け、ノンステップバスの導入は実施していない。	引き続き、安心して利用できるよう、感染症防止対策に取り組むことに加え、沿線の学校と連携し、利便性の高いダイヤを検討し、利用促進に取り組む。
加越能バス株式会社	脇 起点:高岡駅前 終点:脇	各種割引定期券の販売、バス位置情報の提供等、沿線市町村と連携しPRに努め、利用促進に取り組んだが、新型コロナウイルスの影響を受け輸送人員・運送収入とも減少した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 今年度の利用者数は108,385人で前年度比95.9%となり新型コロナの影響を受け輸送人員は減少した。新型コロナの影響を受け、ノンステップバスの導入は実施していない。	新型コロナ感染防止対策等、安心安全な公共交通を沿線市と連携しPRに努め利用促進に取り組む回復を図る。
加越能バス株式会社	守山経由氷見 起点:高岡駅前 終点:氷見市民病院	各種割引定期券の販売、バス位置情報の提供等、沿線市町村と連携しPRに努め利用促進に取り組む、輸送人員・運送収入とも微増した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 今年度の利用者数は53,478人で前年度比102.9%となり改善した。新型コロナの影響を受け、ノンステップバスの導入は実施していない。	新型コロナ感染防止対策等、安心安全な公共交通を沿線市と連携しPRに努め利用促進に取り組む回復を図る。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
加越能バス株式会社	新高岡守山経由氷見 起点:済生会高岡病院 終点:氷見市民病院	各種割引定期券の販売、バス位置情報の提供等、沿線市町村と連携しPRに努め、利用促進に取り組んだが、新型コロナウイルスの影響を受け輸送人員・運送収入とも減少した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 今年度の利用者数は128,417人で前年度比98.0%となり新型コロナウイルスの影響を受け輸送人員は減少した。新型コロナウイルスの影響を受け、ノンステップバスの導入は実施していない。	新型コロナウイルス感染防止対策等、安心安全な公共交通を沿線市と連携しPRに努め利用促進に取り組み回復を図る。
加越能バス株式会社	伏木経由氷見 起点:済生会高岡病院 終点:氷見市民病院	各種割引定期券の販売、バス位置情報の提供等、沿線市町村と連携しPRに努め利用促進に取り組んだが、新型コロナウイルスの影響を受け輸送人員・運送収入とも減少した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 今年度の利用者数は77,982人で前年度比81.9%となり新型コロナウイルスの影響を受け輸送人員は減少した。新型コロナウイルスの影響を受け、ノンステップバスの導入は実施していない。	新型コロナウイルス感染防止対策等、安心安全な公共交通を沿線市と連携しPRに努め利用促進に取り組み回復を図る。
加越能バス株式会社	仏生寺 起点:済生会高岡病院 終点:氷見市民病院	各種割引定期券の販売、バス位置情報の提供等や沿線市町村と連携し沿線の学校等への利便性をPRし潜在的な利用者の掘り起こしに取り組んだが、新型コロナウイルスの影響を受け輸送人員・運送収入とも減少した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 今年度の利用者数は68,627人で前年度比81.8%となり新型コロナウイルスの影響を受け輸送人員は減少した。新型コロナウイルスの影響を受け、ノンステップバスの導入は実施していない。	新型コロナウイルス感染防止対策等、安心安全な公共交通を沿線市と連携しPRに努め利用促進に取り組み回復を図る。
加越能バス株式会社	石動 起点:済生会高岡病院 終点:石動駅前	各種割引定期券の販売、バス位置情報の提供等や沿線市町村と連携し沿線の学校等への利便性をPRし潜在的な利用者の掘り起こしを行ったが、新型コロナウイルスの影響により輸送人員・運送収入とも減少した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 今年度の利用者数は51,088人で前年度比92.0%となり新型コロナウイルスの影響を受け輸送人員は減少した。新型コロナウイルスの影響を受け、ノンステップバスの導入は実施していない。	新型コロナウイルス感染防止対策等、安心安全な公共交通を沿線市と連携し又、地元住民へのPRに努め利用促進に取り組み回復を図る。
加越能バス株式会社	済生会・中田団地 起点:高岡駅南口 終点:中田中学校前	各種割引定期券の販売、バス位置情報の提供等や沿線市町村と連携し沿線の学校等への利便性をPRし潜在的な利用者の掘り起こしを行ったが、新型コロナウイルスの影響により輸送人員・運送収入とも減少した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 今年度の利用者数は29,026人で前年度比89.1%となり新型コロナウイルスの影響を受け輸送人員は減少した。新型コロナウイルスの影響を受け、ノンステップバスの導入は実施していない。	新型コロナウイルス感染防止対策等、安心安全な公共交通を沿線市と連携し又、地元住民へのPRに努め利用促進に取り組み回復を図る。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
加越能バス株式会社	城端白川郷 起点:城端駅前 終点:白川郷	国内外からの観光客にも分かり易いようバス位置情報やフリーWi-Fiの提供、また企画切符・商品の販売を継続し利用促進に取り組んだが、新型コロナの影響により輸送人員・運送収入とも減少した。	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 今年度の利用者数は観光需要の落ち込みが大きく、18,808人で前年度比40.0%となり新型コロナの影響を受け輸送人員は減少した。新型コロナの影響を受け、ノンステップバスの導入は実施していない。	新型コロナ感染防止対策等、安心安全な公共交通を沿線市と連携しPRに努めるとともに、企画乗車券等を企画し国内観光需要の取り込み等利用促進に取り組み回復を図る。
加越能バス株式会社	庄川町 起点:高岡駅前 終点:庄川町	各種割引定期券の販売、バス位置情報の提供等や沿線市町村と連携し沿線の学校等への利便性をPRし潜在的な利用者の掘り起こしを行ったが、新型コロナの影響により輸送人員・運送収入とも減少した。	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 今年度の利用者数は90,969人で前年度比88.8%となり新型コロナの影響を受け輸送人員は減少した。新型コロナの影響を受け、ノンステップバスの導入は実施していない。	新型コロナ感染防止対策等、安心安全な公共交通を沿線市と連携しPRに努めるとともに、沿線観光地の情報発信により国内観光需要の取り込み等利用促進に取り組み回復を図る。
西日本ジェイアールバス株式会社	系統名:名金線 運行区間:金沢駅～森本駅～福光駅	バスロケーションシステム導入への参画や、青春18きっぷ利用者への割引施策実施等、幅広いニーズに対応した施策の実施や、継続した地域イベント等への参画等、モビリティマネジメントの取り組みにより、当該路線及び沿線地域のPRに努めた。	A	計画どおり適切に実行された。	B 前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け利用者数が回復せず対前年93.2%に留まった。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、ノンステップバスの導入は実施していない。	引続きバスロケーションシステムへの参画、青春18きっぷ利用者への割引施策実施等、幅広いニーズに対応した施策の実施や、継続した地域イベント等への参画等、モビリティマネジメントの取り組みに加え、沿線施設と連携した企画乗車券の造成の検討を進めることにより、当該路線及び沿線地域のPRに努める。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和4年1月6日

協議会名:	富山県生活路線バス協議会
評価対象事業名:	地域間幹線系統確保維持国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	地域間幹線系統は、地域住民、特に高齢者や児童・生徒などにとって必要不可欠な移動手段であり、通勤・通学のほか、通院・買い物などの住民生活の足として重要であり、その維持確保を目的とする。 ※各系統の目的・必要性については、別紙のとおり

別添1 各地域間幹線系統の目的・必要性

運行事業者名	番号	運行系統名	起点	経由地	終点	目的・必要性
富山地方 鉄道(株)	1	滑川	富山駅前	針原新町	滑川駅前	滑川市・富山市水橋地区から富山市中心地への通勤・通学・買い物・通院の手段として必要
	2	猪谷	赤十字病院前	笹津	猪谷	細入・大沢野地区から富山市中心地への通勤・通学・買い物・通院の手段として必要
	3	富山ー高岡	富山駅前	呉羽・小杉	高岡駅前	高岡市・射水市と富山市相互間の通勤・通学・買い物・通院の手段として必要
	4	富山ー小杉	富山駅前	呉羽	小杉駅前	射水市と富山市相互間の通勤・通学・買い物・通院の手段として必要
	5	山田	富山駅前	速星・羽根	山田行政センター	山田・婦中地区から富山市中心地への通勤・通学・買い物・通院の手段として必要
	6	ファボーレ 経由萩の島	富山駅前	ファボーレ	富山駅前	婦中地区から富山市中心地への通勤・通学・買い物・通院及びショッピングセンターファボーレへの買い物の手段として必要
	7	熊野経由八尾	富山駅前	新布瀬・分田	八尾鏡町	八尾・婦中地区から富山市中心地への通勤・通学・買い物・通院の手段として必要
	8	城端	富山駅前	砺波駅前	城端行政センター	城端・福光・福野・砺波地区から富山市中心地への通勤・通学の手段として必要
	9	国立富山病院	富山駅前	速星・羽根	国立富山病院	婦中地区から富山市中心地への通勤・通学・買い物・通院及国立富山病院への交通手段として必要
	10	布目経由新港東口	富山駅前	布目・練合	新港東口	射水市及び富山市北西地区から富山市中心地への通勤・通学・買い物・通院の交通手段として必要
加越能バス(株)	11	脇	高岡駅前	新守山	脇	灘浦小学校、氷見高校、高岡商業高校、高岡工芸高校、高岡第一高校への通学、灘浦地区からの氷見及び高岡市街地への買い物 一部新高岡駅まで延伸
	12	守山経由氷見	高岡駅前	新守山・氷見駅口	氷見市民病院	氷見高校、高岡商業高校、高岡第一高校への通学、氷見市民病院への通院、高岡市街地への買い物 一部新高岡駅まで延伸
	13	新高岡守山 経由氷見	済生会病院	新守山・氷見駅口	氷見市民病院	氷見高校、高岡商業高校、高岡第一高校への通学、氷見市民病院・済生会病院への通院、新高岡駅・高岡市街地への買い物
	14	伏木経由氷見	済生会病院	伏木駅前・氷見駅口	氷見市民病院	氷見・伏木からの新高岡駅・高岡市街地への通勤・買い物等や氷見・高岡からの高岡ふしき病院への通院
	15	仏生寺	済生会病院	仏生寺・氷見駅口	氷見市民病院	氷見・高岡からの高岡商業高校、氷見高校、高岡第一高校への通学、新高岡駅・高岡市街地への買い物等
	16	石動	済生会病院	立野・福岡町	石動駅前	沿線企業への通勤、高岡からの福岡高校への通学 新高岡駅へ乗り継ぎ、アウトレットへの買い物
	17	済生会・ 中田団地	高岡駅南口	済生会病院 中田団地	中田中学校前	中田地区から高岡への通勤、済生会病院への通院、イオンへの買い物
	18	城端白川郷	城端駅前	西赤尾	白川郷	五箇山地区から南砺市への通院、買い物、平高校への通学
	19	庄川町	高岡駅前	戸出団地・砺波総合病院	庄川町	高岡南高校、高岡聴覚総合支援学校への通学、砺波総合病院への通院やイオンへの買い物、新高岡駅・小牧船舶への乗り継ぎ
西日本ジェイ アールバス 株式会社	20	名金線	金沢駅	香林坊・森本駅	福光駅	南砺市から、福光中部小学校、福光中学校、南砺福光高校への通学や、通勤、通院、買い物及び福光駅までのアクセスのための交通手段であり、地域住民の生活交通路線として必要不可欠である。また、南砺市(特に福光地域)と金沢市は広域交流を続けているが、本路線は両市を結ぶ数少ない重要な公共交通機関であり、その存在意義は極めて大きなものである。
合計	20	路線				